

## 事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和4年3月30日

事業所名 美浜町立わかば園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%	0%		
	2	職員の配置数は適切であるか	100%	0%	・余裕を持った配置にしている。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がい者の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	71%	29%	・バリアフリー化されていないところがある。現在バリアフリー対応が必要な児童はいない。	・保育所に隣接している親子クラスは、絵本コーナーや気になる物が多くあるため、視覚的に少なくしたり整理したりする。 ・築年数が経っておりバリアフリー化は難しいが、様々な障がいの特性を持った児童が増える中、今後は配慮や工夫が必要になると思う。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	86%	14%	・親子クラスは、築年数が経っているため、においが気になることがある。消臭剤を置いたり、日々掃除や消毒を行い清潔な状態になるよう心がけている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	100%	0%	・日々の振り返りや言語聴覚士や作業療法士、臨床心理士などの専門家からの助言を参考にしながら進めている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%	0%	・平成30年度より実施。	・保護者からの意見要望に対して、その都度、職員間で話し合い、結果を丁寧に伝えていきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%	0%	・平成30年度より実施。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0%	100%		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%	0%	・新型コロナウイルスの影響もあり外部研修へ参加は減りました。 ・園内において取り組んできました。	・機会として確保されていたが、新型コロナウイルスの影響で中止になったり、zoomで行ったりしました。今後も研修等に参加できるようにしていきます。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100%	0%	・保護者と情報共有し、思いを聞き、支援計画に反映できるように心がけている。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%	0%		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%	0%		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%	0%		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%	0%	・各クラスや必要に応じて全員で相談し計画している。	・さらに職員間での話し合いや相談を行い、適切なものにしていきたい。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	0%	・クラスの児童にとって必要なことを職員や専門の先生方の助言を参考にしながら立てている。 ・見立てや振り返りをして、次の活動につなげるようにしている。	・他事業所や保育所からの情報を取り入れていきたい。

	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	100%	0%		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0%		
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%	0%	・日々クラスごとで振り返りをした後、全体でも共有している。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%		
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	86%	14%		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	100%	0%		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				該当児の受け入れはしていない。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				該当児の受け入れはしていない。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%	0%	・移行前の話し合いや、移行後の事後訪問により支援内容について、情報共有と相互理解する機会を設けている。	・保育所等移行後の事後訪問を1回程度行っているが、児童や保護者により回数を考慮していく。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%	0%	・わかば園での様子を見学してもらい、情報共有した。	・外国籍の児童が増えてきたときは、通訳を交えての面談を取り入れていく必要がある。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%	0%		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	100%	0%	・隣接の保育所の活動や行事に参加する機会がある。 ・単独クラスは、児の様子に合わせて交流を実施している。 ・避難消火訓練、防犯訓練は、合同で参加することもある。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	0%	100%		・機会あれば参加していく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	・日々の療育や面談・グループワークを通じて共通理解につなげている。 ・戸外あそびや自由あそびの時に、話す機会をつくっている。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	86%	14%	・外部講師を招いて保護者向けグループワークを実施している。		

保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100%	0%		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	86%	14%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面談時に時間を設けている。</li> <li>・聞くことはできるが、適切な助言ができない時がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員間で保護者の悩みや助言を共有し、必要な助言と支援方法を伝えていけるようにします。</li> </ul>
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	43%	57%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・父母の会はない。</li> <li>・わかばタイム月一回。</li> <li>・新型コロナウイルスにより座談会年2回が1回しか実施できなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍でも開催できるように、座談会の在り方を検討していきます。</li> <li>・グループワークの中で、保護者同士が自由に話せる時間や雰囲気をつくっていきます。</li> </ul>
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月のグループワークでお知らせしている。会報はない。</li> </ul>	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鍵のかかる場所に保管している。</li> </ul>	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っているか	0%	100%		
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アレルギー発作等の緊急時に備え、職員による訓練を念2回実施した。</li> <li>・単独クラスは、親子日での参加や散歩時での参加が少なかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、保育所と合同で行うが、親子クラス単独クラスでの様々な場合を想定した訓練を増やしていきたい。</li> </ul>
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隣接した保育所と防犯訓練、避難消火訓練を行っている。</li> <li>・親子クラスのみでも訓練を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訓練の回数を検討し、保護者参加を増やしていく。</li> </ul>
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入園時にフェイスシートにて把握している。</li> </ul>	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			該当児なし	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故ヒヤリハット報告書を職員間で共通理解し、再発防止に努めている。</li> </ul>	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	71%	29%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対応について随時話し合っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部研修について、機会があれば参加していく。また、園内でも研修していく。</li> </ul>
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	0%	100%	該当児なし	

★この「事業所における自己評価（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。